

平成30年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市黒埼地区総合体育館（有料） ※プール無し		
管理者名	(公財)新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区金巻746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 12,600㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） アリーナ 1,222㎡ トレーニング室 84㎡ 剣道場 278㎡ 柔道場 199㎡		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 28,700人	30,024人(前年度比105%)	B	目標を達成
	基準利用率の達成	・利用率平均50%以上(利用時間数/利用可能時間数) ※体育室・武道場を対象	体育室78.4% 武道場(剣道場・柔道場・相撲場)26.2% 合計52.3%	B	目標を達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には3営業日以内に回答	迅速に回答している	B	速やかに対応していた
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 9,000人以上	春・夏:4158人 秋:2736人 冬:2491人 年間:9,385人(前年度比104%)	B	目標を達成
財 務	使用料収入の達成	・年間使用料収入(免除料金除く)9,514千円以上(但し、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	9,599,879円(前年度比101%) ※1か月間体育室利用中止期間あり	B	目標を達成
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取組の実施件数5件以上	・シフトの効率化を図り超勤削減 ・善久管理体制を見直し人件費削減 ・スライド勤務により人件費削減 ・スタッフができる修繕はできるだけスタッフが行う ・常に省エネを心がけ無駄な電気をつけない	B	運営経費削減に向けて取り組んだ
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年7回以上実施	①6/13小瀬小フロアカーリング指導 ②6/16立仏あそぼうさいAED指導 ③7/11東青山小PTAフロアカーリング指導 ④8/19黒埼まつり相撲大会協力 ⑤9/15大野ふれ協ウオーク協力 ⑥9/30西区ウオーク協力※雨天中止 ⑦10/13山田ふれ協フロアカーリング指導 ⑧1/1黒埼元旦 マラソン協力 ⑨2/9西区ふれあい冬まつり協力 ⑩2/23黒埼南ふれ協フロアカーリング大会指導 ⑪3/1黒埼ふれ協フロアカーリング大会指導	B	目標以上の事業協力及び指導を積極的に行い地域貢献に努めた。
	改善勧告等の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応している	B	適切に実施していた
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	4/2コンプライアンス研修実施	B	適切に実施していた
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施(消防訓練・救命救急訓練など)	①6/5 ②12/3	B	目標通り実施した
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	全員が普通救命Ⅱ資格講習受講済、資格取得済	B	目標通り実施した
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守している	B	遵守していた
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年8回以上実施	①4/2接遇研修 ②4/2AED+CPR研修 ③4/2トレーニングルーム指導研修 ④11/21インストラクション研修 ⑤10/26庶務研修 ⑥11/15ゼロックス研修 ⑦12/12健康運動指導士講習会 ⑧1/16応急手当普及員講習会 ⑨3/26屋外スタッフ接遇・AED+CPR研修	A	目標通り実施した
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守している	B	遵守していた

【評価基準】
A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)
12月10日～1月11日まで体育室床改修工事に伴う利用中止期間あり。危険な部分があった体育室床がリニューアルされ安全になった。上記利用中止期間があったが、個人利用者数の目標を達成できた。4～5月にトレーニングルームの拡張工事を行い、トレーニングルームが広がったこと、トレーニングマシンを2台(4種目)増設した効果であると思う。8月には1F玄関脇女子トイレリニューアル工事をし、全ブース洋式に改修した。より快適な施設になったと思う。次年度も順次トイレをリニューアルしていきたい。夏季猛暑の影響を受け、特にランニングコースや卓球室では対策が必要である。検討していきたい。

所管課による総合評価(所見)
トレーニングルームの拡張工事や掲示物の改良など利用者増への取組みにより、親しみある施設の雰囲気づくりの成果が表れ始めている。今後も利用者が安全で安心して利用できるような施設管理に努めるとともに、利用者数と顧客満足度向上に向けた取組みに期待する。また、引き続き市との情報共有を図られたい。